

# ふきのとう①

なまえ

二年

くみ

どんなおはなしかをまとめよう。

★きょうかしよを音読しましょう。

★どんなおはなしでしたか。

きせつ

( ) ふゆ

( ) から

( ) にかわるころ

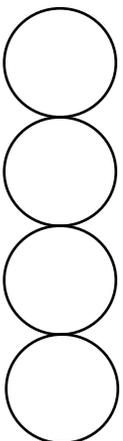


どうじょうじんぶつ

おはなしの中に出てくる人のこと。

はるになったら、土の中からのび出てくる。  
むかしからよくたべられている。  
あじは、すこしにがみがあっておいしい。

「 ふ



」

( ) 竹のはっぱ

( ) 「はるかぜがないと、おどれない。」

( ) 「よいしょ。よいしょ。おもたいな。」

← 「こんにちは。」

( ) 「はやくとけてあそびたいけど…」

「竹やぶのかけになって、お日さまがあたらない。」

( ) 「おうい。はるかぜ。おきなさい。」

( ) 「や、お日さま。や、みんな。おまちどお。」

# ふきのとう②

なまえ

二年

くみ

音読のくふうをかんがえよう。

★ふきのとう③④のプリントを見ましょう。

とうじょう人ぶつの「せりふ」にいろえんぴつでせんをひきましよう。

竹のはっぱ

青

ふきのとう

みどり

雪

むらさき

お日さま

赤

はるかぜ

びんく

★とうじょう人ぶつになったつもりで、③④のプリントを音読しましょう。

★音読のくふうをかんがえましょう。

・大きなこえ

⇕

大きなこえのはんたいは？

・

（なこえ

・たかいこえ

⇕

たかいこえのはんたいは？

・

（こえ

・ゆっくり読む

⇕

ゆっくり読むのはんたいは？

・

（読む

・やさしく読む

⇕

やさしく読むのはんたいは？

・

（読む

・リズムをつけて読む

いろいろな音読のくふうがあるね！

# ふきのとう③

なまえ

二年

くみ

★じぶんで音読のくふうをかんがえよう。



よが あけました。

あさの ひかりを あびて、

竹やぶの 竹の はっぱが、

「さむかったね。」

「うん、さむかったね。」

と ささやいて います。

雪が まだ すこし のこって、

あたりは しんと して います。

どこかで、小さな こえが しました。

「よいしょ、よいしょ。おもたいな。」

竹やぶの そばの ふきのとうです。

雪の 下に あたまを 出して、

雪を どけようと、ふんばって いる ところです。

「よいしょ、よいしょ。そとが 見たいな。」



音読のくふうの中から  
2つえらんでかこう。

どんな気持ち

よいしょ

よいしょ

どんな気持ち

よいしょ

よいしょ

# ふきのとう④

なまえ

二年

くみ



「ごめんね。」

と、雪が言いました。

「わたしも、早く とけて

水になり、とおくへ 行って

あそびたいけど。」

と、上を見上げます。

「竹やぶの かげになって、

お日さまが あたらない。」

と ざんねんそうです。



「すまない。」

と、竹やぶが 言いました。

「わたしたちも、ゆれて おどりたい。

ゆれて おどれば、 雪に 日があたる。」

と、上を見上げます。

「でも、はるかぜが まだ こない。

はるかぜが こないと、おどれない。」

と ざんねんそうです。

Blank writing area with five rounded rectangular boxes. Each box contains a small label in the top right corner:

- Box 1 (leftmost): ② くさくさ
- Box 2: ① くさくさ
- Box 3: ① どんな気持ち
- Box 4: ① くさくさ
- Box 5 (rightmost): ① どんな気持ち

# ふきのとう⑤

なまえ

二年

くみ

空の上で、お日さまが わらいました。

「おや、はるかぜが ねぼうして いるな。」

竹やぶも 雪も ふきのとうも、みんな

こまって いるな。」

そこで、南を むいて 言いました。

「おうい、はるかぜ。おきなさい。」



お日さまに おこされて、

はるかぜは、大きな あくび。

それから、せのびして 言いました。

「や、お日さま。や、みんな。おまちどお。」

はるかぜは、むね いっぱいに いきを すい、

ふおっと いきを はきました。



どんな気持ち

①

②

どんな気持ち

③

④

# ふきのとう⑥

なまえ

二年

くみ

はるかぜに ふかれて、



竹やぶが、ゆれる ゆれる、おどる。

雪が、とける とける、水になる。

ふきのとうが、ふんばる、せがのびる。

ふかれて、

ゆれて、

とけて、

ふんばって、

もっこり。

どんなかんじ

くふう

ふきのとうが、かおを

出しました。

「こんにちは。」

もう、

すっかり はるです。

どんなかんじ

くふう

どんな気持ち

くふう

くふう



# ふきのとう⑦

二年

くみ

なまえ

くふうして音読しよう。

- ★③④のプリントを見ながら、くふうして音読しましょう。
- ★かんそうを書きましよう。
- ★すきなところやこころにのこったことばも書きましよう。


## ★保護者のみなさまへ

国語の教科書『光村図書』のウェブサイトを、作者へお問い合わせの音読動画が視聴できます。

(緊急事態宣言のため、特別に無料公開しています。)

# きょうのできごと①

二年 組

～思い出して日記に書こう～

めあて 日記には、どんなことを書けばいいのか考えよう。

四月十八日（土曜日）はれ

夕方、おかあさんがコロツケをつくって  
いました。ぼくが見ていたら、おかあさんが、  
「いっしょにつくろうか。」

と言ったので、ぼくもおてつだいをすること  
にしました。

ぼくは、じゃがいもと、ひき肉と、玉ねぎを  
まぜたものをまるめました。きれいなかたち  
にするのがむずかしかったけれど、だんだん  
じょうずにできるようになりました。

夕ごはんのまえに、できたてをあじみしま  
した。ころもがかりつとしていて、おいし  
かったです。

○じょうずに書けているところを見つけましょう

# きょうのできごと②

～思い出して日記に書こう～

二年 組

【日記に書くこと】

- たいせつ**
- ・ したこと
  - ・ 見た事、見つけたもの
  - ・ 言ったこと、きいたこと
  - ・ 思ったこと

こんなことを書くといいね。



めあて

日記に書くできごとをあつめよう。

- ①【いつ】【どこ】【だれが】【どうした】

がわかるように、一文でまとめる。

れい

朝、いえのリビングで、お父さんとおかあさんとぼくがトーストをたべました。

②書き出したできごとには、つづけて書きましよう。

① 見た事、見つけたもの      ② きいたこと

③ 言ったこときいたこと

④ 思ったこと

丸の中につけたしたことがわかるように、①、②、③、④をかきましよう。

きょうのできごと③

〜思い出して日記に書く〜

二年 組

めあて えらんだできごとを日記に書く。

ふりかえり ◯△をつけましょう。

- ① じぶんがしたことを、じゅんばんどおりに書くことができました。
- ② 思ったことをくわしく書けた。
- ③ 日記を読みかえして、まちがいをなおすことができました。

きょうのできごと④

～思い出して日記に書こう～

二年 組

〔

めあて★学しゅうしたことをつづけましょう。

言ったことや、きいたこと、思ったことも入れて日記に書こう。